

事例 No.007

新南地区社会福祉協議会

《組織について》

会員 53名

自治会、民生・児童委員会、婦人会、老人クラブ連合会、交通安全対策協議会、消防分団、公民館、母子福祉会

《組織の設立経緯》

昭和59年度に活動開始

新南地区居住者が健康で豊かな文化的生活を営むことができるように地区全体の社会福祉を増進し、明るい地区を構築することを目的とし、心和むふれあい街づくり、思いやり、支えあい、皆で築く街づくりを目指しています。



活 動 内 容

○ふれあい食事会（平成3年から実施）

65歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に年6回実施、栄養面を考えた手づくり料理でおもてなしし、食事の後は余興を楽しみ、ネットワーク作りに努めています。

○三世代交流七夕まつり（平成2年から実施）

老いも、若きも、子どもとともに三世代が一緒になって、七夕の夕べを開催し模擬店、ゲーム、笹焼きなどにより楽しみます。また、独居老人を招待し地域住民と交流を図っています。

○敬老祝賀会

75歳以上の方を対象に、敬老の日に祝賀会を開催し、全員にお祝い品（金山時味噌）を贈呈し、米寿の方には毛布と紅白饅頭も贈っています。

地域の方々のアトラクションを楽しみ長寿をお祝いします。

○子どもの見守り活動

青少年サポートチームとして、地区4箇所において小学生下校時の見守りを実施。

工 夫 ・ 問 題 点

- ・小学校区と行政区が違うので、活動人材の確保が難しく後継者の養成が思うようにいかない。
- ・個人情報保護の観点から、1人暮らしの高齢者等状況が把握しにくい、可能な限り見守りを続けていく。

活 動 予 定

- ・次世代の担い手として、若い人が参加しやすい魅力ある事業の展開
- ・住民が気軽に立ち寄れる場所の提供
- ・災害に備え、防災の啓発をするとともに、住民の自助・共助の意識を高める活動（防災訓練への積極的な参加）